

会長の挨拶

一般社団法人関西日中平和友好会 会長 神谷 坦

日ごとに暑さが厳しくなりますが、会員各位におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

1977年に創立された「中国帰国者友好会」を母体とし、その第1回総会において、1979年関西支部として創立しました当会は、おかげさまで40年に及ぶ歴史を重ねることができました。これもひとえに皆様の日頃のご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。また、この記念すべき年に6月9日の総会で一般社団法人への移行が承認され新たなスタートを切りました。

今般これらを記念しまして「一般社団法人設立記念及び創立40周年記念祝賀会」を迎えるにあたり、沢山の日中友好団体の方々からご丁寧なるご祝辞を頂きまして誠にありがとうございました。

折しも本年は令和に改元され 中華人民共和国建国70周年に当たる歴史的意義のある年であります。

当会も新体制に移行しての節目の年になり、駐大阪総領事館をはじめ、日中関係諸団体主催の式典等、各方面の式典に積極的に参加し、交流の場を拡げてまいりましたが、各団体の日中友好に対する熱意と原点に立った継続的な貢献を目の当たりにして、当会も民間交流を基軸にして日中友好を推し進めていく決意を新たに致しました。来年は習近平国家主席の来日もあるように聞いております。日中関係の改善に向けた勢いはどんどん増し良好な関係が続くものと確信しております。

中国は改革開放後40で、ハイテク覇権を米国と競い合うまですさまじいスピードで発展しましたが、米中の関税戦争はエスカレートする一方です。

6月に開催されたG20大阪サミットは、メンバー国や招待国の首脳、国際機関など、世界37の国や機関が参加し、日本が議長国として開催するこれまで経験したことがない大規模な国際会議となりました。

渦中の米中貿易戦争も、米中二国間会談で貿易交渉が再開され、追加関税の発効も当面見送られ、ファーウェイに対する禁輸措置もとされましたが、まだ予断はできません。

データ流通の国際的ルール作り「大阪トラック」の創設や、海洋プラスチックごみなど地球環境問題の具体的取り組みなど、成果のある会議であったと思います。

国内では、7月21日に行われた参院選では憲法改正の国会発議に必要な164議席には少し足りませんでした。2012年12月に発足した安倍政権は歴代最長の安定した政権となっていますが、老後資産や消費税増税など問題はいろいろ残されています。

当会では、帰国者の方も高齢化により、だんだん減ってまいりましたが、現在では若い方々が大勢参加され活躍しております。この大きな節目を機に心機一転、会の結束をさらに強固にして、さらなる日中友好事業の発展に寄与する所存でございます。

今後は、活動の主力となる法人部会・文化部会・広報部会を中心に、駐大阪総領事館、各日中友好団対と協力し、情報交換の場を多く持ち、交流の幅と質を高め、多くの若い方々に興味を持って頂くきっかけ造りを具体的に進め、会と会員の皆様が共に発展できる事業を展開していきたいと考えております。是非とも皆様方のご協力ご鞭撻をお願いいたします。

2019年8月



一般社団法人
関西日中平和友好会
Kansai Japan China Peace and Friendship Association